



平成22年7月25日

連日、救急出場件数が過去最高を記録！

～高温気候による熱中症等の発生増加による影響と考えられます～

連日猛暑日が続いており、7月24日の救急出場件数は2,766件で、1日当たりの救急出場件数が昭和11年の救急業務開始以来、歴代1位となりました。

今後も、救急出場件数の増加が予想されることから、東京消防庁では、熱中症の防止対策や救急車の適正利用について呼びかけています。

1 救急車の適正利用

救急車出場件数が増加し救急車の稼働率が上昇すると、病気やケガの症状が重く、緊急性が高い方の救急搬送に支障をきたす可能性があります。

このことから、熱中症の防止に十分注意していただくとともに、**病院へ行った方がいいのか、又は、救急車を呼んだ方がいいのか、判断に迷った場合には「東京消防庁救急相談センター（#7119）」へご相談ください。**

2 1日あたりの救急出場件数の記録（歴代1位から3位）

- ・第1位 2,766件 平成22年7月24日
（高温気候による熱中症等の発生増加による影響と考えられる。）
- ・第2位 2,683件 平成22年7月23日
（高温気候による熱中症等の発生増加による影響と考えられる。）
- ・第3位 2,442件 平成22年7月22日
（高温気候による熱中症等の発生増加による影響と考えられる。）

※平成22年4月1日から、東久留米市の消防事務が当庁に委託されています。

※熱中症を防ぐための注意点、応急手当ての方法については当庁ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

（東京消防庁（代） 電話 3212 - 2111
広報課報道係 内線 2345～2349）